
開講科目名：情報法特殊研究 (2単位)

開設年次：1年 2年 3年 4年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：米丸 恒治

《授業の概要》

■講義の内容・目的

情報に関わる法律問題の中で、特にインターネットなどの情報通信ネットワークにかかわる法律問題とその解決のための課題について検討する。

■講義方法

講義を中心にしながら、ときどき参加している学生にも質問をし、考えてもらえるようなインタラクティブな授業にしたい。

■講義構成

- 1 はじめに 情報と法
 - ・講義の受講上の注意：
 - ・私たちの生活の中での情報の役割を考える。
 - ・インターネットなど電気通信の利用の浸透度
- 2 情報と法・情報の法的価値と保護・概観
 - ・現代社会における「情報」の役割
 - ・情報の活用と法的保護
 - ・情報の法的保護の諸制度概観
- 3 ネットワーク利用の現状
 - ・電気通信サービスの現状
 - ・インターネットの利用状況と問題点の概観
- 4 ネットワーク利用権の基礎・電気通信法制の基礎
 - ・電気通信法制の基礎・インターネットなどの利用を支えるものとして
 - ・電気通信事業者の役割、法的規制の現状
- 5 同一ユニバーサル・サービス、通信利用権の保障
 - ・ユニバーサル・サービスとはなにか。
 - ・ユニバーサル・サービスの保障の法制度
- 6 サイバースペースにおける表現規制・刑事責任
 - ・インターネットにおける表現規制・ポルノ画像の規制の展開を素材に
- 7 プロバイダの役割と責任
 - ・プロバイダの役割
 - ・プロバイダの責任と情報発信者の責任
- 8 サイバースペースにおける商取引・民事責任
 - ・インターネットにおける商取引と民事責任、消費者保護
- 9 電子署名、電子認証・時刻認証(タイムスタンプ)
 - ・インターネット上の情報流通、データ交換の特徴
 - ・電子署名の役割、電子認証・時刻認証サービス、とは？
- 10 インターネットと個人情報保護
 - ・個人情報保護法制の概観
 - ・インターネット特有の個人情報保護
- 11 商業的通信の規制・スパムメールの規制
 - ・スパムメールとは？
 - ・スパムメールの規制
- 12 ネットワークにおけるセキュリティー
 - ・ネットワーク上のセキュリティー問題
 - ・セキュリティー確保のさまざまな仕組と法
- 13 行政情報の社会的利用と法・情報公開法

- ・行政情報公開法制の概観
 - ・どの機関に対して、どのような情報の公開が請求可能か。
- 14 電子政府化の現状と電子的行政手続法
- ・電子政府・電子自治体の改革の現状、電子的行政手続法
 - ・付論：e文書法

2. 評価方法

報告分担＋日常点評価の方式にするか、期末テスト方式にするか、第1回打ち合わせのときに評価方式については確定する。

《テキスト》

特に指定しない。授業は、レジュメを配布して進めていく。

《参考書》

多賀谷一照・松本恒雄編集代表『情報ネットワークの法律実務』（第一法規、加除式）
その他、授業中に適宜紹介する。